

事業者氏名： 吉村さんのおもてなし  
 設置者及び管理者： 吉村 陽

○ 安全点検

①訪問先の設備・周辺環境等の安全点検

点検項目	点検内容及び点検方法
室内設備	保育場所、玄関やベランダの施錠、洗面所やお風呂場、お手洗い等の確認
室外設備	玄関まわり、駐車場、庭、ベランダの危険（怪我につながる）と思われるもの、ことの確認
周辺環境	訪問先の周辺の危険個所の確認 外遊びでの公園や道の確認
保育室内	怪我につながる家具、物の確認 誤飲することのないような物の配置になっているか確認
玩具・遊具等	年齢に応じた玩具等で遊び、誤飲するような玩具では遊ばない 怪我に繋がるようなものは手の届くところに置かない

②マニュアルの策定

分野	策定期期	見直し（再点検）予定時期	管理場所・方法
重大事故防止マニュアル	年 月 日	年 月 日	
<input type="checkbox"/> 午睡	年 月 日	年 月 日	
<input type="checkbox"/> 食事	年 月 日	年 月 日	
<input type="checkbox"/> 水遊び・プール	年 月 日	年 月 日	
<input type="checkbox"/> 室外活動（散歩等）	年 月 日	年 月 日	
<input type="checkbox"/> 送迎（実施の場合）	年 月 日	年 月 日	
<input type="checkbox"/> 降雪（必要に応じて）	年 月 日	年 月 日	
災害時マニュアル	年 月 日	年 月 日	
119番対応時マニュアル	年 月 日	年 月 日	
救急対応時マニュアル	年 月 日	年 月 日	
不審者対応時マニュアル	年 月 日	年 月 日	

○ 事故発生時における対応の流れ

想定される事故	対応の流れ
見守りをしていた際に、シッター自身の不注意や、子ども自身がおもちゃや室内のものを壊してしまう	壊れてしまった破損した物の証拠写真を撮る 子どもには怪我がないか確認する 依頼者宅の物が壊れた時は保険会社に相談の連絡をして補償を受けられるか確認する
外出時、外遊びの公園、散歩中に子どもが怪我をしてしまう	まず怪我の具合を確認 処置が必要な場合は応急処置を自ら行う 度合いが強い場合はできる応急処置行っただうえで依頼主に連絡、指示に従って対応する
睡眠中の乳幼児突然死症候群	必ず、仰向けに寝かせる 寝ている周りには物を置かない おかしいと感じた場合はすぐに119へ
ミルクや食事時の事故、誤飲	すぐに病院受診する 応急手当がわからない場合は、子ども医療電話#8000に相談する

○ 児童・保護者に対する安全指導等

① 児童への安全指導（保育サービス提供時における安全、災害や事故発生時の対応、交通安全等）

対象児童	指導内容及び指導方法
乳児・ 1歳以上3歳未満児	身体の状態を十分に観察しながら保育する 子どもと常に一緒にいるようにする 行動範囲が広がっていくので、身の回りのものを点検し遊べるようにする
3歳以上児	身体の状態を十分に観察しながら子ども自身との会話との中でも健康かどうか判断がつくような質問をしてみる 会話が成立する年齢であっても危険の判断基準が様々と思うので、子どもをしっかり観察しつつ言葉に気を付けながら安全に対しても気を付けるポイントを伝える

② 保護者への説明・共有

説明内容	共有方法
①安全に保育する為の環境整備について協力を求める ②緊急時連絡先、連絡手段、避難経路、避難場所の確認 ③事前にお子さまカルテを記入してもらい、それをもとに保育をする	HP上に記載して閲覧者・依頼者へ周知  依頼時等にメールやライン等で伝達

○ 訓練・研修

①研修・講習受講について

研修・講習事項	実施予定日/実施予定機関
京都府強度行動障害支援者養成研修 (基礎研修)	令和6年 8月 23日/
子どもの行動への理解 困っている子どもを支援し、子どもの自己肯定感を育む為に	令和6年 9月 10日/
	令和 年 月 日/
	令和 年 月 日/
	令和 年 月 日/

②行政等が実施する訓練・講習スケジュール

※京都市等が実施する各種訓練・講習スケジュールについて、参加目途にかかわらずメモ

2024年10月26日 統合保育/食育/幼児教育/乳児保育
2024年11月11日 食育研究委員会研修 2024年11月19日 学習会
2024年11月16日 現役保育士からのお話と実技、保育士の働きかたや給与等のお話
2024年12月4日 子育て支援、保護者との連携、こどもの健康、実習事前指導

○ 再発防止策の徹底（ヒヤリ・ハット事例の収集・分析及び対策）

乳児をベッドに寝かせ姿勢や呼吸を確認せず亡くなってしまう事故を耳にする為、必ず確認する
登れないと思っていた場所に登っていたりすることがある為、登れるかもしれないと意識して見守ること
保育場所で転んだ際に、おもちゃ等があり転倒時に怪我をすることがある為、怪我すると予想できるものはよけておく
知らぬ間にシールを剥がして口の中に入れていたことがあり、えずいていたので吐き出させた
手づかみ食べの最中に次から次へ食べ物を入れていくことがあるのでペース配分を考慮して食事する

○ その他の安全確保に向けた取り組み（関係機関や近隣住民との連携等）

HP上や、お客さま等、関わる方達との安全確保に向けた取り組み、実体験の共有
行政等からの情報の共有